

11/9 福祉会館で6年ぶりに「健康福祉まつり」



▲足に負担をかけることなく、気軽にできる健康体操。

健康増進センターと市健康課を移転した健康福祉会館で、6年ぶりに「健康福祉まつり」を開催しました。

健康体操・食育体験・介護予防相談や講演会、NPO法人によるイベント等が行なわれ、家族連れや福祉施設利用者など600人が参加しました。参加者は「健康と福祉の大切さがよくわかった」とイベントや作品展示などを通じて、実感していました。

11/17 播磨国風土記の里をめぐる



▲播磨中央自転車道を走る参加者（豊倉町）。

プロロードレーサーの中島康晴選手（Aisan Racing Team）と、自然豊かな加西の播磨国風土記ゆかりの地や名所をめぐる自転車イベントを開催しました。

市内外から参加した51人は、播磨中央自転車道と北条鉄道を利用する2つのコースに分かれ、糠塚山などを訪れました。また、栄町の大根を使った料理や古墳をイメージした限定パンのおもてなしを楽しみました。

12/3 今年の干支「午（うま）」が登場



▲「皆さんに楽しんでもらいたい」と山本さん（左）、中村さん。

北条鉄道・播磨横田駅の北側に、中村利實さん（西剣坂町）と山本六良太夫さん（東横田町）が、約1カ月かけて作製した全長2m、高さ1.4mの干支「午」のオブジェが出現しました。

頭にマツ、背骨にヒノキの木を使用。播磨農業高校で実際の馬を確認し、稲わらや薄い毛布を使って、より実物に近づくように表現されています。

12/7 わらを編んで「しめなわづくり」



▲お正月を楽しみに、しめなわを作る参加者。

「しめなわづくり」教室が、丸山総合公園管理棟で開催され、親子連れら20人が参加しました。

講師のシルバー人材センターの高井照夫さんと藤原節子さんと一緒に、わらをねじって縄を作り、世界で一つしかない「しめなわ」を作りました。

作り終えた参加者は、「これでお正月が迎えられる。家に飾るのが楽しみ」と話していました。

タウンピックアップ

11/20 たくさんみかんが取れたよ！



▲たくさんのみかんに大喜びの園児。

泉第一保育所と泉幼稚園の園児72人が、シルバーロイ株式会社（大内町）の招待で、同社敷地内の畑でみかん狩りをしました。

園児は、匂いをかいだり、色を見極めたりして、みかんを収穫。「甘そうな大きいみかんが取れた。家に持って帰って、家族で食べるのが楽しみ」と話していました。

12/2 子どもの新しい遊び場ができました



▲善防公民館の遊具で遊ぶ子どもたち。

昨年4月に廃園になった田原保育園と旧日吉保育園にあった遊具を修繕し、善防公民館とオークタウン加西に移設しました。

就学前の子どもを対象に、善防公民館には、幼児から遊ぶことのできる滑り台やロープ遊具などが一つになった総合遊具、オークタウン加西には、ヘリコプターをイメージした滑り台を設置しました。

12/14 サンタさんと一緒に列車の旅



▲サンタさんからクリスマスプレゼントを受け取る子どもたち。

北条鉄道は12月4日から23日まで、大人気の「サンタ列車」を運行。列車は、片道13.6kmある北条町駅と粟生駅を往復しました。

サンタやトナカイの着ぐるみを着たボランティアらが、歌やゲームなどで車内を盛り上げました。子どもたちは、サンタからクリスマスプレゼントをもらったり、いっしょに写真を撮ったりして楽しみました。

12/16 佐々木禅くんが県知事賞



▲黒いミシンを修理している場面を描いた佐々木くんの作品。

加西市は、芸術で優れた成績を収めた北条小学校の佐々木禅くん（4年）に「さわやか市民賞」を贈呈しました。佐々木くんの作品は、県などが共催する「ものづくり子供絵画展」で、応募作品503点の中から最優秀の県知事賞に輝きました。

「絵を描いたり、物を作ったりするのが好き。最優秀賞はとてうれしいです」と話していました。

加西市のことなら

加西市ホームページ

加西市

検索

テレビで緊急情報「まちナビ」



サンテレビのデータ放送で緊急情報などを発信

災害に備えて「かさい防災ネット」



災害時に避難勧告などの防災情報をメールで自動配信



子育て、定住支援情報なら



子育て・定住支援情報サイト



ふるさと加西は風土記1300年



事業の取り組み等を紹介



かさい観光Navi
Check it out KASAI



遊ぶ・見る・食べるなどの観光情報が満載